

【静岡県教育振興基本計画】

《2022年～2025年》

「有徳の人」づくり

- ・「才」を磨き自立を目指す人
- ・自他を大切にしながら「徳」を積む人
- ・社会や人のために貢献する「才徳兼備」の人

《校訓》

明るく 正しく 仲よく

《学校教育目標》

学びを喜ぶ生徒

《重点目標》

協働、挑戦、成長を楽しむ生徒の育成

【伊東市の教育】

夢と希望を育む学校

- ・学びに向かう力 重点目標
「連携・協働」
- ・命を守る力
- ・人として備えたい力を身に付けた子供の育成

《宇佐美中スタンダード》

- 気持ちのよいあいさつ
- きれいな学校
- 地域行事への積極的な参加

1 ステージごとを振り返り、改善策の検討

《6月・10月・1月・3月に実施》

〈生徒〉各ステージの取組の振り返りを実施し、次のステージに向けての目標を決める。

〈教職員〉各ステージの教育活動を振り返り、今後の取組の改善策を指導部長会で検討、即実践に繋げる。

2 学校評価結果の分析と改善策の検討

《8月・1月に実施》

生徒・保護者・教職員による学校評価の結果を受けて、目標達成に向けての手立てについて、指導部長会、職員会議で検討し目標、手立ての在り方を再考する。

《2月に実施》コミュニティー・スクール運営協議会で検討・提言

わかる授業

《成果指標(7月・12月)》※指標は「4+3」の割合

- 〈生徒〉「授業の内容がよくわかる」85%以上「教員は授業を工夫している」90%以上
- 〈保護者〉「授業の内容がよくわかる」75%以上「教員は授業を工夫している」85%以上
- 〈教員〉「家庭学習が充実する指導をしている」80%以上「ICT機器を活用した授業をしている」90%以上

《主な取組》

- 主体的に学ぶ生徒の育成
- 「表現力」を意識した授業の実践
- 活用できる基礎的な知識・技能の習得を図る
 - (1) 教員の個人テーマの設定、年2回以上の公開授業、事前・事後研の実施
 - ・生徒の問いを大切にした授業構想
 - ・授業内での「聞く」「書く」「話す」時間の確保
 - ・授業の振り返り内容、方法の工夫
 - ・ICT機器の効果的な活用方法の研究
 - (2) 家庭学習方法の研究
 - ・タブレット端末を活用した家庭学習の工夫
 - ・生活ノート、自学ノートの運用の工夫

生徒の自治的な活動

《成果指標(7月・12月)》※指標は「4+3」の割合

- 〈生徒〉「委員会、係の責任を果たしている」「学級・学年目標を達成しようと努力している」90%以上
- 〈保護者〉「子どもは、自分の思いや考えを周りの人に伝えようとしている」80%以上
- 〈教員〉「過程を大切にした学級・学年経営ができた」「生徒の手中心の活動を推進できた」90%以上

《主な取組》

- 目標達成までの過程を大切にした学級経営
- よりよい学校生活を実現する生徒会活動
- 生徒たちの手で創り上げる学校行事
 - (1) 学級での班会議、プログラム委員会、学級会の工夫
 - ・年間を通して「学級目標」達成に向けた取組を推進
 - ・ステージ、学期ごとに取組の振り返りの時間を確保
 - ・PDCAを意識した話し合い活動の時間の確保
 - (2) 生徒が自分たちの手で委員会、係、行事を動かしていると実感できる支援
 - ・一人一役、係長の配置、話し合い活動の時間の確保(自治タイム)、委員会掲示板の設置
 - ・生徒会、委員会、係会の達成度振り返りの実施

生徒が「宇佐美中でよかった」を実感できる学校～親身になって関わる～

○地域、家庭、小学校と連携する学校

《成果指標(7月・12月)》

- 〈生徒〉「積極的な地域行事への参加」75%以上
- 〈保護者〉「積極的な情報発信」85%以上
- 〈教員〉「定期的な教育相談と早期の対応」100%

《主な取組》

- ・地域の「人」「もの」「こと」の有効活用
- ・学校からの積極的な情報発信
- ・9年間の教育活動を意識した小学校との指導方法の連携、合同研修
- ・2回の三者面談、3回の授業参観の実施

○相談しやすい、温かみのある学校

《成果指標(7月・12月)》

- 「先生、学校は相談しやすい」
- 〈生徒〉80%以上 〈保護者〉80%以上
- 〈教員〉「生徒指導の4ポイントを意識した指導ができた」90%以上

《主な取組》

- ・生徒の居場所がある環境づくり
- ・人権感覚を大切にした生徒指導
- ・年3回の生活アンケート、教育相談の実施
- ・「宇中ノート」を活用した生徒、保護者との関係づくり

○健康的で安全・安心な学校

《成果指標(7月・12月)》

- 「規則正しい生活を送っている」
- 〈生徒〉95%以上 〈保護者〉85%以上
- 〈教員〉「日常的に命を守る教育を推進できた」100%

《主な取組》

- ・家庭と連携した生活習慣の確立
- ・レジリエンスの視点を取り入れた保健活動の推進、FATの実施
- ・危機管理意識を高め、命を守る防災教育、安全教育
- ・日常的な相談体制の確立

「共創」を目指す学校

- ◆PTA運営委員会 ◆コミュニティー・スクール運営協議会
- ◆地区教育懇談会 ◆市教委等関係諸機関、市内小・中学校

共創…多様な立場の人たちと対話しながら、新しい価値観を共に創りあげていくこと。